

製品名: IGF1 受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21599**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:154kD;Observed MW:200kD

抗原情報

遺伝子名	IGF1R
別名	IGF1R;Insulin-like growth factor 1 receptor;Insulin-like growth factor I receptor;IGF-I receptor;CD antigen CD221
遺伝子 ID	3480.0
SwissProt ID	P08069
免疫原	ヒト IGF-I 受容体 β の組換えタンパク質

背景

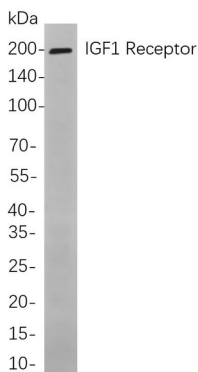
細胞局在: 膜性。この受容体はインスリン様成長因子 (IGF) に高い親和性で結合する。チロシンキナーゼ活性を有する。IGF I 受容体

は形質転換において重要な役割を果たす。前駆体の切断により α サブユニットと β サブユニットが生成される。ほとんどの悪性組織で過剰発現しており、細胞生存を促進することで抗アポトーシス因子として機能する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]

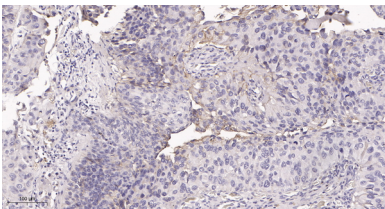
研究分野

-

画像データ



IGF1 受容体ウサギ mAb を用いた LoVo 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。1、IGF1 受容体ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。